

令和2年度事務事業実績評価表

1 事業概要

		課名	美術博物館	事業No.	310
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始	H1	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画		4	自然と歴史を守り活かし伝え、新たな文化をつくりだす	
	分野別計画			第2次飯田市教育振興基本計画	
				飯田市美術博物館2028ビジョン・基本プラン	
法令・例規等			博物館法		
			飯田市美術博物館条例		
事業目的	対象	飯田市民及び下伊那郡住民			
	意図	ふるさとの自然や文化、星空の持つ魅力に気付き、地域を大切にすることを育むとともに、地球を見つめ宇宙を夢見る広い視点と豊かな発想力を養う。			

2 事業内容

2年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	<ul style="list-style-type: none"> 太陽系をテーマに火星の最接近や他の惑星を題材にして番組投影や事業を展開しました。 投影事業では、天文への関心を高めるための学校や地域の予約投影への対応や星空解説やオリジナル番組を組み合わせ地域の魅力も発信しました。 教育普及事業では、部分日食や惑星を題材にした観望会や講座を開催したほか、飯田宇宙教育では小惑星探査機の地球帰還10周年と「はやぶさ2」をテーマにオンラインイベントを開催し1,000人以上の方が参加されました。 また、地域や団体との連携による観望会やスタンプラリーも実施しました。 	一般番組制作(委託)	3,960
学習番組制作(委託)		2,153	
プラネタリウムチラシなど(印刷)		646	
東京五輪での多目的利用(保安員含む)		0	
飯田・宇宙教育事業		127	
協議会・研修関係(旅費)		0	
機器保守管理費・修繕料		572	
著作権料・事務・管理費・消耗品費		681	
新型コロナ対策		632	
会計年度任用職員		3,121	
その他の経費		0	

活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
			プラネタリウム観覧者数	人	17,000	13,497	13,000	12,471	14,000	12,647
プラネタリウム投影回数	回	1,000	858	800	786	800	640	800	312	
ドームイベント回数	回	10	11	10	11	12	12	12	12	
オリジナル番組制作数	本	1	1	1	1	0	0	0	0	
宇宙天文教育回数(観望会・館外活動)	回	10	16	10	16	15	22	20	15	
飯田天文ネットワーク活動回数	回							12	6	

2年度決算(千円)	予算額		12,956	特定財源内訳及び補足事項						
	決算額		11,892	(そ) 美術博物館観覧料 372千円						
	財源の状況	国庫支出金	0	(そ) ふるさと寄附金 4,600千円						
		県支出金	0							
		地方債	0							
		その他	4,972							
一般財源		6,920								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	6	11	30	9,711	8,771	美術博物館プラネタリウム運営事業費
2	1	10	5	6	1	3	3,245	3,121	会計年度任用職員人件費
3									
4									
5									
6									
7									

振り返り課題認識	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍の中、回数や人数の制限、感染症対策を行いながら投影を行いました。 学習来館した小中学校のほとんどが星空解説、学習番組やオリジナル番組を観覧しました。 プラネタリウムの構造上、密閉空間になることから当面は感染症に対応した投影が必要です。
上記の課題解決のための有効策	<ul style="list-style-type: none"> 学習来館に際しては、学習番組を充実すると共に、回数や人数の制限に対応するため、展示観覧との併用を提案します。 一般の来館者を増やしていくために施設の多目的な利用を検討します。
次年度に向けての取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 学習来館に対応した番組や観覧方法など、各学校の要望に沿って対応します。 天文への興味関心を高めるため、各地域や公民館等と連携した取組を進めます。